

IV 近代から戦争、そして平和へ ～蝶々夫人～

□ 上海航路



【日華連絡船 長崎丸】



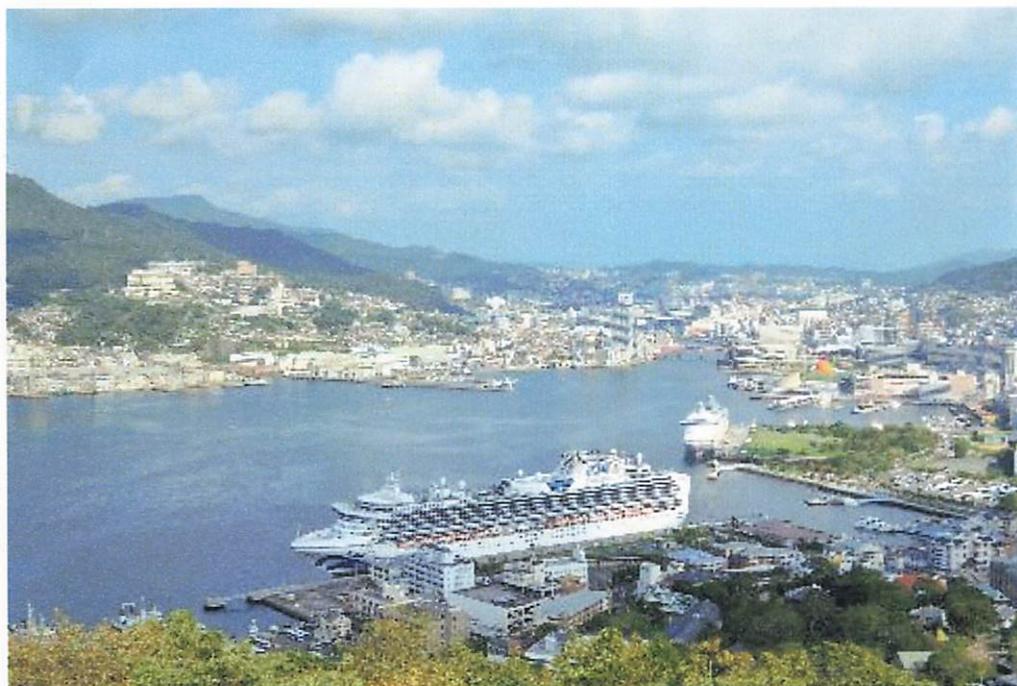
【1920年代頃の上海】

長崎港は1571年の開港以来、貿易港として栄え、1923年（大正12年）には、長崎-上海間の定期航路が就航した。

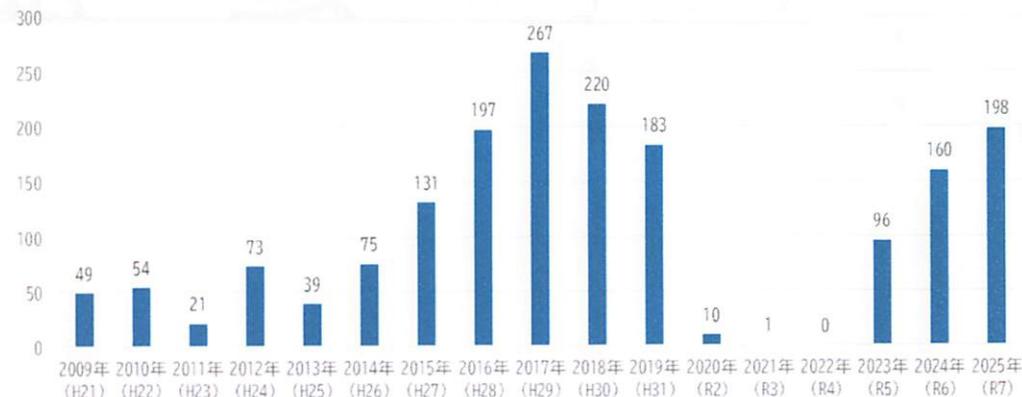
当時、上海は欧米諸国の共同租界がある国際色豊かな大都市だった。

長崎の人にとっては、東京に行くよりも身近で「下駄履きで上海へ」と言われるほど交流が活発で、昭和初期、上海に住む日本人2万人のうち、長崎出身者が3分の1を占めていた。

□ 現在のクルーズ



長崎港クルーズ客船寄港実績推移

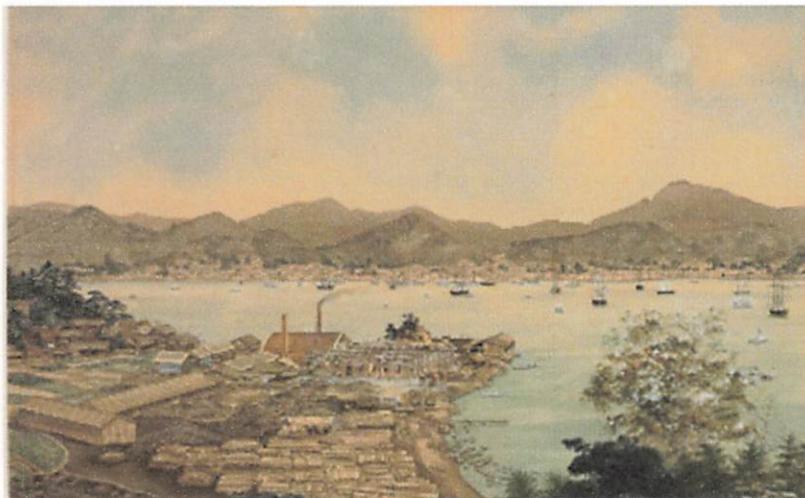


長崎港は、これまで多くの国内外のクルーズ客船を受け入れており、2017年は最多となる267隻が寄港した。

現在も受入体制の強化を図っており、16万トン級のクルーズが2隻同時に着岸できるよう、令和14年度の完成を目指して、松が枝観光船埠頭を整備中である。

IV 近代から戦争、そして平和へ ～造船～

□ 三菱重工長崎造船所



【長崎製鐵所風景図】 長崎歴史文化博物館蔵

長崎の造船業は、1857年（安政4年）、徳川幕府が日本初の洋式工場「長崎溶鉄所」を建設したのが始まり。1884年（明治17年）、明治政府から三菱が経営を引き受けて造船業を本格化。「長崎造船所」として、我が国の近代工業化に大きく貢献した。

□ 長崎事始め

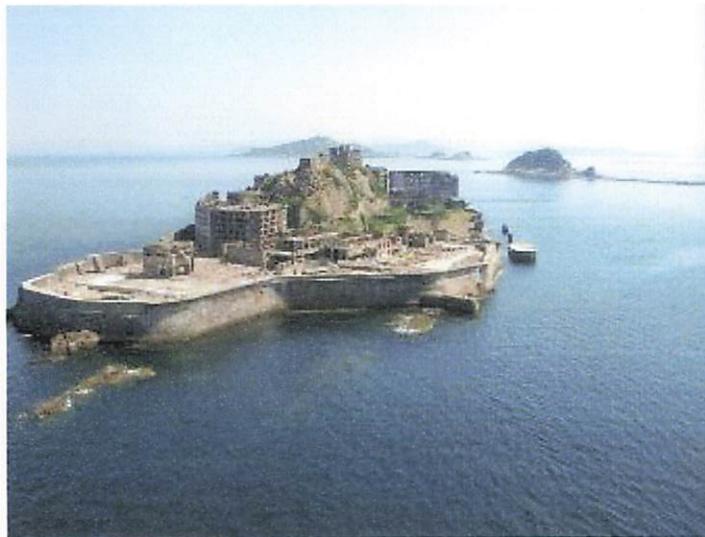


【ボウリング】

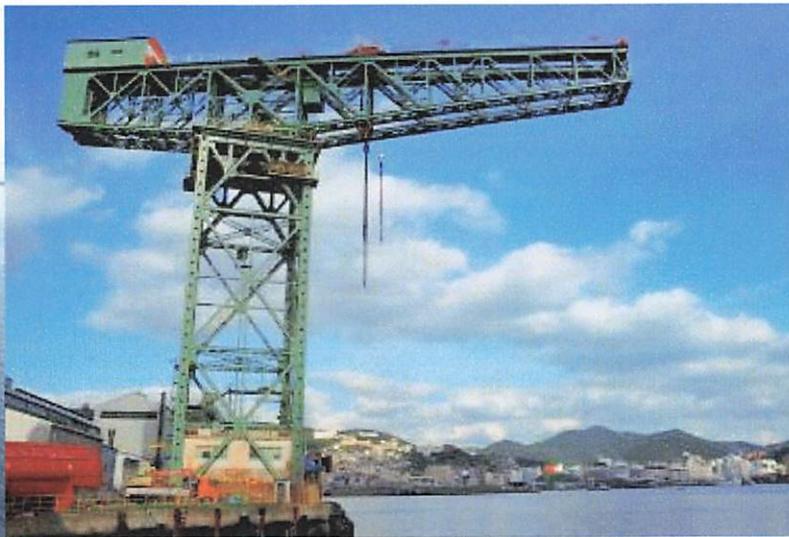


【西洋料理(自由亭)】

□ 明治日本の産業革命遺産



【端島炭鉱】



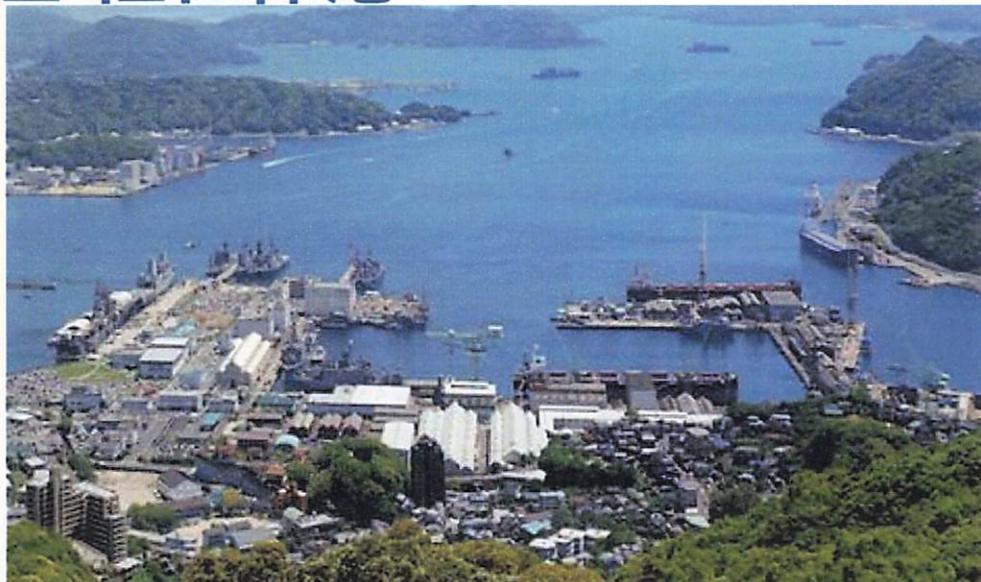
【ジャイアントカンチレバークレーン】



【長崎造船所 第三船渠】32

IV 近代から戦争、そして平和へ ～鎮守府～

□ 佐世保港

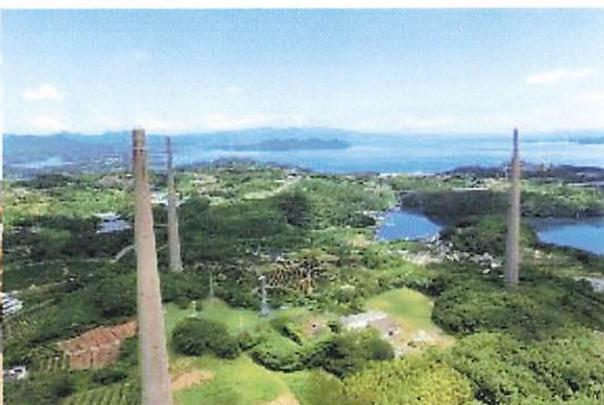


佐世保は、1889年（明治22年）に鎮守府が置かれ、横須賀、呉、舞鶴と並ぶ日本海軍の拠点となった。

□ 日本遺産（鎮守府）

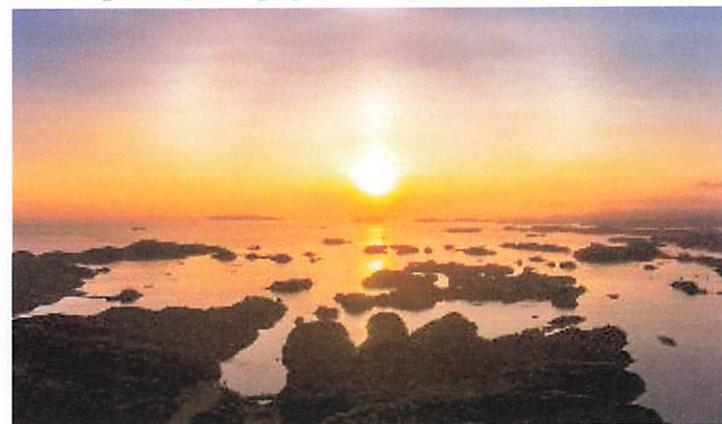


©SASEBO 【旧佐世保鎮守府凱旋記念館】



©SASEBO 【針尾送信所】

□ 佐世保の魅力



©SASEBO

【九十九島】



©SASEBO

【九十九島カキ】



©SASEBO

【佐世保バーガー】

針尾送信所は、1922年（大正11年）に建造された通信施設。当時、れんが造りに代わる最新技術としてコンクリートの導入が進む中、高さが136mに及ぶ針尾送信所は、現存する電波塔としては日本最古。

また、太平洋戦争開戦となる真珠湾攻撃での暗号「ニイタカヤマノボレ1208」を電信したことでも知られる。